

## 平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	坂町立横浜小学校		
学校長氏名	川上 克己	栄養教諭氏名	曲田 梨良
職員数	31 名	児童・生徒数	304 名

### 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

生活リズムの変化が児童の生活習慣に影響を及ぼし、夜型の食生活や睡眠時刻のずれなど様々な問題が生じている。このような生活リズムの変化は、特に朝食の摂取を低下させる原因にもなる。実際に、クラス担任に朝ごはんを食べた児童と食べていない児童の授業中の様子について聞き取り調査を行ったところ、朝食を食べしていない児童は集中力を維持することが困難となり、学力の低下がみられるとのことである。そのため、本校では朝食を摂取することの大切さや必要性を理解し、改善に向けて学校全体で取り組むことが求められる。

### 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

朝食の摂取目標を、児童、保護者共に 90%以上にするを目標に取り組む。

### 3 食育の目標に対する具体的な取組

#### 【取組 1】（テーマ） 朝ごはんを作ろう！親子料理教室

夏休みに親子で簡単朝ごはんを実施した。メニューは広島の地場産物であるレモン、たこ、ちりめんを使用して調理を行った。メニューは「まんさい！ひろしまごはんのおむすび」「やさしいっぱいオープンオムレツ」「はまっ子元気汁」「フルーツヨーグルトあえ」の 4 品目であり、主食、主菜、副菜のバランスがとれるように考案した。また、料理教室で実施したレシピと、簡単に作れる朝ごはんを紹介するためにレシピ集を作成し、食育黒板に掲示したりお持ち帰りコーナーを設けたりするなどして、児童や家庭に向けて朝ごはんについて周知を図った。

こんだて（例）

まんさい！ひろしまごはんのおむすび

やさしいっぱいオープンオムレツ

はまっ子元気汁

フルーツヨーグルトあえ

かんたん  
朝ごはん



## 【取組 2】(テーマ) 朝ごはんレシピ集の資料配布とポスター掲示

食育黒板に朝ごはんレシピ集の掲示と、朝ごはんの重要性についてのポスター掲示を行った。

朝ごはんレシピ集はとても好評であり、児童が持ち帰った献立を家庭で調理してもらえるため、家庭での実践につなげやすいと感じた。そのため来年度も引き続き実施していきたい。

朝食の大切さについて、3年生には特別活動の時間に授業を実施するが、その他の学年については授業を実施する機会がなく呼びかけができていなかった。そのため、児童が登下校で目にする場所にポスター掲示を行い、朝ごはんの良さについて周知することは効果的だった。



## 【取組 3】(テーマ) 給食委員会活動での朝食ポスター作り

朝食の摂取を校内で呼びかけるために、委員会活動を利用して朝食の大切さに関するポスター製作を行った。5年生から6生の給食委員がグループに分かれてポスターを作成し、完成したポスターは校内に掲示を行った。この活動を通して、自ら朝食の大切さについて調べようとする意欲がみられたり、ポスターに興味を持っている児童がみられたりするなど、学校全体で取組を行うことができた。

## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

10月から11月を中心に学校給食に「ひろしま給食」を取り入れ、児童、生徒に向けて提供を行った。献立作成では、1週間に2回のペースで「ひろしま給食」を取り入れるように計画を立て、前年度の献立も参考にしながら提供を行った。また、「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取り組みについて児童、生徒、保護者に周知を図るため、放送委員会による献立の紹介、各クラスへのポスター掲示、食育黒板での宣伝、給食便りの発行など様々な手段を用いて情報発信を行った。期間中に「ひろしま給食」について児童に聞き取り調査をしたところ、ほとんどの児童が地場産物について理解を示しており、「ひろしま給食」の効果を感じることができた。また、レモンを活用したサラダについて児童の味覚に合うか心配だったが、提供後の残菜はほとんどなく、よく食べきっていた。各クラスに配布したシール表の結果を見ると、シールを欄外に張っているクラスや、シールの追加を求めてくるクラスもあり、児童にとって興味、関心を高くもって取り組むことができる活動であることが分かった。また、集計結果の内容を見ると、スイーツを調理していた児童が多く、給食で提供できないメニューだからこそ挑戦して食べてみたいなどの意欲を示す児童が多いことが分かった。

優秀賞作品  
タコタコライスをPR



- ・ワクワクJJJ  
(10/14日提供)
- ・豚肉とひろしま食材の  
たっぷり炒め物  
(10/20日提供)
- ・ひろしままんぷく!  
シャキシャキサラダ  
(11/1日提供)



- ・牛乳 ・もち麦サラダ
- ・タコタコライス ・梅ゼリー



- ・牛乳 ・麦ごはん
- ・豚肉とひろしま ・おでん  
食材のたっぷり炒め物

## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

朝食摂取割合は、児童 86.2%、保護者 85.7%という結果になり目標値の90%に届くことができなかった。しかし、今まで学年のみの指導だったのが、今年度は学校全体で取組を行うことができたため、今後継続して行っていくことが大切であると感じた。

### 【課題】

定期的に朝食に関するアンケートを実施していなかったため、取組の効果を図ることができず、児童や保護者の理解度を把握することが出来なかった。また、児童に周知させる取組の方が多かったように思えたことから、料理教室のように児童が主体的に参加できるような参加型の活動を積極的に実施し、知識だけでなく実践に移せる態度を身につけさせるようにしていきたいと考える。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

来年度も継続して取組を行うと共に、朝食を摂取することの大切さを全校朝会で実施するなど学校全体で周知を行い実践する態度を見につけさせる。また、養護教諭が取り組んでいる生活リズムカードを活用し、朝食の摂取についても親子で考えてもらうようなアプローチが必要である。そのため、学校全体と他の先生方とも連携を含めて、実践できるまで取り組んでいきたい。